



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月28日

上場会社名 アルプスアルパイン株式会社

上場取引所 東

コード番号 6770 URL <https://www.alpsalpine.com/j/ir/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 CEO 兼 技術担当 (氏名) 泉英男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 管理担当 CFO 兼 経営企画担当 (氏名) 小平哲 TEL 03(5499)8026

四半期報告書提出予定日 2023年8月8日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	218,508	6.6	△2,539	-	2,364	△67.5	△2,374	-
2023年3月期第1四半期	204,978	17.3	1,730	249.6	7,266	-	2,613	-

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 12,918百万円 (△34.5%) 2023年3月期第1四半期 19,720百万円 (-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 △11.55	円 銭 -
2023年3月期第1四半期	12.67	12.67

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2024年3月期第1四半期	百万円 756,831	百万円 408,584	% 53.7	円 銭 1,979.62
2023年3月期	736,997	399,782	54.0	1,937.47

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 406,793百万円 2023年3月期 398,111百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 -	円 銭 20.00	円 銭 -	円 銭 20.00	円 銭 40.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	20.00	-	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	469,000	3.2	8,500	△57.3	9,000	△66.5	5,000	△71.3	24.33
通期	960,000	2.9	32,500	△3.3	33,500	△4.1	20,000	74.4	97.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ②①以外の会計方針の変更：無
- ③会計上の見積りの変更：無
- ④修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

①期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	219,281,450株	2023年3月期	219,281,450株
②期末自己株式数	2024年3月期1Q	13,790,540株	2023年3月期	13,802,000株
③期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	205,483,106株	2023年3月期1Q	206,258,503株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

2023年7月28日（金）に当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、サプライチェーンの混乱や半導体不足による供給制限が緩和し、景気は緩やかな回復の継続が見られる一方で、インフレ対策を主眼とした各国中央銀行の利上げにより円安が進むなど、依然として不透明な状況が続いています。

地域別の状況については、米国・欧州では個人消費が景気を下支えています。高いインフレ率と金利の上昇が継続し今後の消費者の購買力への不透明感が高まっています。中国では新型コロナウイルス感染拡大収束後の景気回復の勢いが衰えており、政府の追加景気刺激策が待たれています。日本ではエネルギー価格の高騰や物価上昇等による景気減速懸念が続いているものの、インバウンド消費が回復傾向にあり、経済活動の正常化を受けて景気は緩やかな回復基調にあります。

当社を取り巻く事業環境は、円安による売上高及び各種利益への押し上げ効果に加え、グローバル自動車生産は回復基調にあります。一方で、部材価格の高止まり、スマートフォンのコモディティ化による競争の激化や、民生・車載向け電子部品の在庫調整による需要減少など、依然として厳しい状況が続いています。

当第1四半期連結累計期間における経営成績の概況については以下のとおりです。なお、下記に示す売上高は外部顧客に対する売上高であり、報告セグメント間売上高は内部取引売上高として消去しています。

#### セグメントの状況

##### <コンポーネント事業>

売上高は、モバイル向け製品が減少の一方で、円安が大きく寄与したほか、ゲーム向け製品や車載用スイッチの採用拡大が加わり、事業全体では増加しました。営業利益は、スマートフォン向け製品を取り巻く競争環境や、販売製品の構成変化により、前年同期を下回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるコンポーネント事業の売上高は614億円（前年同期比3.5%増）、営業利益は15億円（前年同期比70.6%減）となりました。

##### <センサ・コミュニケーション事業>

売上高は、車載向け通信デバイスや車載向けセンサが堅調に推移しましたが、キーレスエントリーシステムのデジタル化に向けた世代交代による減少やモバイル機器向けセンサの納入終了により、事業全体では減少しました。営業利益は、受注獲得に伴う開発費の増加や半導体をはじめとした部材の高騰により、前年同期を下回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるセンサ・コミュニケーション事業の売上高は198億円（前年同期比0.4%減）、営業損失は14億円（前年同期における営業利益は1億円）となりました。

##### <モジュール・システム事業>

売上高は、グローバル自動車生産の回復に伴う自動車部品の需要増加や、前第4四半期連結会計期間から販売を開始したインフォテインメントの新製品などの寄与により、増加しました。営業利益は、新製品の生産立ち上げによるコスト増加があったものの、価格適正化の推進や物流費の削減もあり、前年同期比で改善しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるモジュール・システム事業の売上高は1,326億円（前年同期比30.5%増）、営業損失は29億円（前年同期における営業損失は59億円）となりました。

以上により、上記の3事業セグメントにその他を加えた当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高2,185億円（前年同期比6.6%増）、営業損失25億円（前年同期における営業利益は17億円）、経常利益23億円（前年同期比67.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失23億円（前年同期における親会社株主に帰属する四半期純利益は26億円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末と比べ198億円増加の7,568億円、自己資本は86億円増加の4,067億円となり、自己資本比率は53.7%となりました。

流動資産は、現金及び預金、棚卸資産の増加と、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末と比べ57億円増加の4,723億円となりました。

固定資産は、建物及び構築物、投資有価証券の増加と、建設仮勘定の減少等により、前連結会計年度末と比べ140億円増加の2,845億円となりました。

流動負債は、短期借入金、未払費用の増加と、支払手形及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末と比べ75億円増加の2,720億円となりました。

固定負債は、繰延税金負債の増加等により、前連結会計年度末と比べ35億円増加の761億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間について、2023年4月28日に公表した業績予想に対し、為替の変動を加味し、売上高を上方修正します。通期の業績予想は、第2四半期連結累計期間における売上高の変化分を上方修正します。営業利益は、円安による増益期待があるものの、民生市場の低迷によるリスクを考慮し、2023年4月28日に公表した予想から変更していません。第2四半期連結会計期間の為替レートについては、1米ドル=140円、1ユーロ=150円、1人民元=19.8円にて試算を行っています。

業績予想には、現時点で入手可能な将来予測に基づく情報が含まれています。今後も為替の変動、スマートフォン向け製品の需要増減、民生・車載向け電子部品の在庫調整の長期化、エネルギーや部材の価格高騰に対する価格適正化の進展、新製品量産開始時の想定を上回るコストアップなどの不確定要素により、実際の業績が業績予想と大幅に異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	84,173	98,300
受取手形及び売掛金	176,921	161,516
商品及び製品	83,548	83,352
仕掛品	20,847	23,016
原材料及び貯蔵品	61,029	63,714
その他	40,204	42,605
貸倒引当金	△210	△191
流動資産合計	466,515	472,312
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	126,858	136,860
減価償却累計額及び減損損失累計額	△93,184	△92,889
建物及び構築物(純額)	33,674	43,971
機械装置及び運搬具	301,559	318,694
減価償却累計額及び減損損失累計額	△245,730	△260,382
機械装置及び運搬具(純額)	55,828	58,311
工具器具備品及び金型	159,212	158,386
減価償却累計額及び減損損失累計額	△140,639	△139,295
工具器具備品及び金型(純額)	18,572	19,091
土地	20,432	20,597
建設仮勘定	30,036	25,385
有形固定資産合計	158,545	167,357
無形固定資産		
投資その他の資産	26,484	26,965
投資有価証券	66,708	69,698
繰延税金資産	7,040	8,183
退職給付に係る資産	118	—
その他	11,603	12,406
貸倒引当金	△19	△93
投資その他の資産合計	85,451	90,195
固定資産合計	270,482	284,518
資産合計	736,997	756,831

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	98,547	95,153
短期借入金	77,209	79,264
未払費用	16,183	18,194
未払法人税等	6,487	5,711
賞与引当金	8,939	6,153
製品保証引当金	9,377	10,026
その他の引当金	85	45
その他	47,740	57,550
流動負債合計	264,570	272,099
固定負債		
長期借入金	44,728	45,468
繰延税金負債	8,140	10,930
退職給付に係る負債	16,817	16,788
役員退職慰労引当金	79	75
環境対策費用引当金	634	634
その他	2,244	2,250
固定負債合計	72,644	76,147
負債合計	337,215	348,246
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	38,730	38,730
資本剰余金	124,206	124,211
利益剰余金	222,385	215,896
自己株式	△28,581	△28,557
株主資本合計	356,740	350,280
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,348	23,038
土地再評価差額金	△496	△496
為替換算調整勘定	29,129	43,309
退職給付に係る調整累計額	△9,611	△9,338
その他の包括利益累計額合計	41,370	56,513
新株予約権	105	75
非支配株主持分	1,565	1,714
純資産合計	399,782	408,584
負債純資産合計	736,997	756,831

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	204,978	218,508
売上原価	170,251	183,733
売上総利益	34,726	34,775
販売費及び一般管理費	32,995	37,314
営業利益又は営業損失(△)	1,730	△2,539
営業外収益		
受取利息	119	281
受取配当金	460	301
持分法による投資利益	19	526
為替差益	5,269	3,968
その他	417	615
営業外収益合計	6,285	5,693
営業外費用		
支払利息	228	268
外国源泉税	219	100
その他	302	419
営業外費用合計	749	789
経常利益	7,266	2,364
特別利益		
固定資産売却益	10	224
投資有価証券売却益	215	23
その他	—	0
特別利益合計	226	248
特別損失		
固定資産除売却損	95	101
減損損失	0	418
その他	9	17
特別損失合計	105	537
税金等調整前四半期純利益	7,387	2,076
法人税、住民税及び事業税	2,413	2,962
法人税等調整額	1,192	1,407
法人税等合計	3,605	4,369
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,781	△2,293
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,613	△2,374
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,168	81
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△463	675
為替換算調整勘定	16,165	13,929
退職給付に係る調整額	237	268
持分法適用会社に対する持分相当額	—	338
その他の包括利益合計	15,939	15,211
四半期包括利益	19,720	12,918
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,832	12,769
非支配株主に係る四半期包括利益	1,888	149

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結財務諸表 計上額 (注)3
	コンポーネ ント事業	センサ・コ ミュニケー ション事業	モジュー ル・システ ム事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	59,388	19,971	101,608	180,968	24,009	204,978	—	204,978
セグメント間の内部売上高又は 振替高	118	41	73	234	12,122	12,356	△12,356	—
計	59,507	20,013	101,682	181,202	36,132	217,335	△12,356	204,978
セグメント利益又は損失(△)	5,308	100	△5,943	△534	2,258	1,723	7	1,730

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システムの開発、オフィスサービス、金融・リース事業、物流等を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額7百万円は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:百万円)

	コンポーネ ント事業	センサ・コ ミュニケー ション事業	モジュー ル・システ ム事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	0	—	0	—	—	0

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結財務諸表 計上額 (注)3
	コンポーネ ント事業	センサ・コ ミュニケー ション事業	モジュー ル・システ ム事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	61,494	19,891	132,636	214,022	4,486	218,508	—	218,508
セグメント間の内部売上高又は 振替高	53	9	15	78	3,069	3,148	△3,148	—
計	61,547	19,901	132,651	214,101	7,555	221,656	△3,148	218,508
セグメント利益又は損失(△)	1,558	△1,441	△2,956	△2,839	361	△2,478	△60	△2,539

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システムの開発、オフィスサービス、金融・リース事業等を含んでいます。なお、前第1四半期連結会計期間末において、「物流事業」を構成していた(株)アルプス物流及びその子会社25社を持分法適用会社に変更したことに伴い、前第1四半期連結会計期間において、「物流事業」として開示していた外部顧客への売上高20,558百万円、セグメント間の内部売上高又は振替高9,347百万円、並びにセグメント利益1,873百万円は、「その他」の区分に含めています。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△60百万円は、セグメント間取引消去です。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業損失(△)と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：百万円)

	コンポーネント 事業	センサ・コミュニ ケーション事業	モジュール・シス テム事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	2	3	412	—	—	418